

2014 年度 米国感染管理研修に参加して

春日井リハビリテーション病院 看護師 萩原 佐紀

2012 年度より 3 年続けて参加させて頂いた英国ロンドンでの研修では、毎回新しい発見に心うきうきする研修でした。今回は、英国だけでなく、米国サンディエゴの病院では、どんなことが行われているのか、とても気になり英国研修から戻って、わずか 2 週間後の米国研修に参加することにしました。

研修期間:2014 年 11 月 3 日～5 日

病院見学:1 日目 US サンディエゴ・ヘルスシステム・ヒルクレスト/長期ケア施設

3 日目 ラホヤ/スクリズプ ラホヤ/パロマーポメード

講義内容:新生児/小児 CLABSI、感染管理と建設工事/環境

人工呼吸器関連事象、成人 CLABSI、多剤耐性微生物/C.ディシフィル、CAUTI

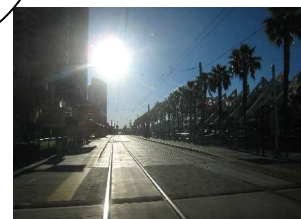
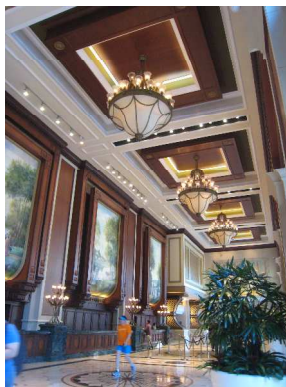
従業員保健、感染予防リスクアセスメントとプログラムの策定

手術部位感染予防 (SSI)、消毒滅菌

サンディエゴは、初日は少し肌寒いかないと思いましたが、その後は暖かく過ごしやすく、お天気も良く、とても気持ちのいい毎日でした。ただ、夜は気温が下がるので、ジャケットなど羽織る物がが必要です。それと、外は過ごしやすいのですが、研修先はとても寒い(冷房強い)ので、やはり羽織る物や、ひざ掛けなどがあったほうがいいです。



ホテルの部屋から見える風景
最高のリゾートです
研修だということを忘れてしま
いそうです



太陽が大きい

ホテルのエントランスです。
素敵過ぎるほど高級ホテル
天井高い～
セブな気分最高です

<<ケア・フュージョンの研修センターで、アメリカで需要の多い医療用品を見学>>

『投薬ミス防止』の安全対策 BOX

内服にも、注射薬にも使えるように、いろいろなタイプがあり、多くの医療機関で使われているそうです。



患者を選択し、内服の情報を入力すると・・・
朝昼夕、頓服など 細かな条件に合わせた選
択ができます。

指定された患者の内服 BOX
のみが開き、取り出せる



ラウンドした
病棟にありま
した



これは、薬の ATM
です。裏側に、無人のロ
ボット薬局があります。
残念！日本語仕様はな
いそうです。



これが裏側

<<エボラ出血熱について>>

イギリスでの研修でも、話題になっていたエボラ出血熱ですが、アメリカ研修でも、参加者みんなの話題的になっていました。ラウンドした病院では、PPEを確実に装着する訓練と、感染する危険性が高い脱衣時の訓練を確実に行えるように、日々訓練を重ねられていました。

PPEはかなり大掛かりなもので、動き難いこともあるため、PPEを装着した状態での、医療行為、看護はかなりの体力も必要であることが、実際の訓練場面をみて強く感じました。

アメリカでは、エボラ出血熱の看護を行う看護師は、志願制であり、多くの看護師から志願があるということです。日本では、現在志願制ではありませんが、もし日本であったらどうなるのだろう、スタッフは集まるのだろうか・・・？そんなことも思いました。

エボラ出血熱などの感染症の患者は、救急車で搬送されてきて、ここでシャワーで洗浄されてから、病院内に收容されるそうです。



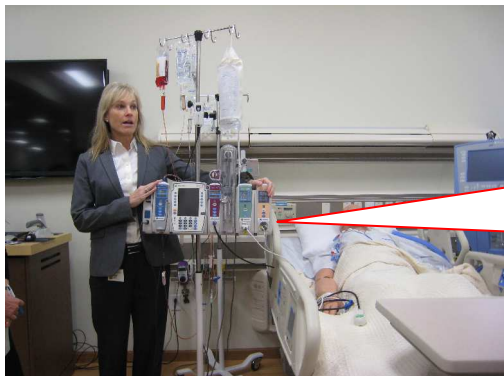
<<ちょっといいなっておもった・・・Good アイディア>>



この☆印は、転倒転落の危険のある患者さんの目印です
☆だけではなく、落ち葉のマークも使われたりするそうです
危険を表すが、嫌な感じがなくてよかったです。



水道が配管されていない場所に、簡易的に設置できる、ポータブル手洗い場



横に輸液ポンプなどが1列に並べられる
シンプルで、扱いやすい
見やすい

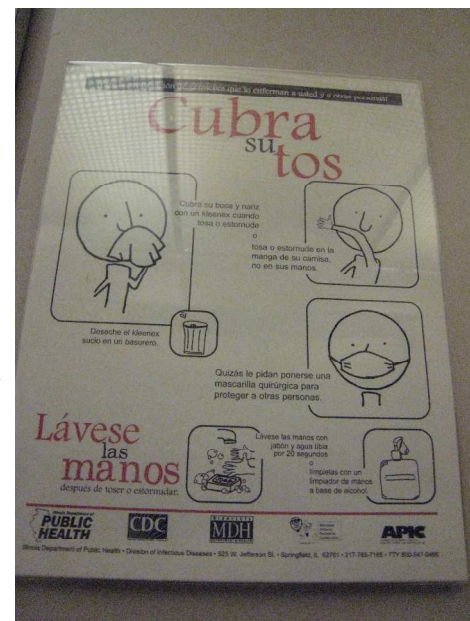
世界共通感染対策の基本

英国でも手洗いのポスターに工夫がこらされていましたが、これはとてもアメリカらしい感じでした。

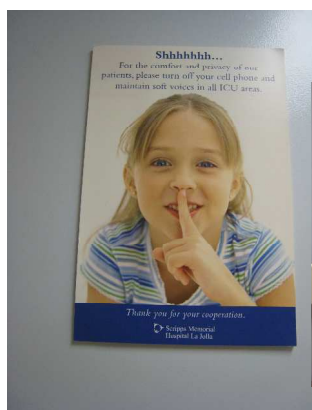
このポスター
手を洗いたくなりますよね



視覚に働きかけるポスターを多くみかけました。
かわいいのもの、わかりやすいもの、
危険性が理解しやすいものなど・・・



手洗いだけではなく、いろいろありました





海外研修では、新たな出会いに感動し、日本の医療制度との違いに、驚いたり感動したり日本に持ち帰りたいと思ったり、普段の当たり前すぎて気づかない日本の良さを改めて実感したり、素敵な刺激と思い出がいっぱいです。何度参加しても、また違ったものに出会えるそんな海外研修です。

一度も海外に行ったことのない、言葉が話せないと思っている方、もし行ってみたいと迷っていたら・・・大丈夫です。何も心配せず、ぜひ海外研修ツアーに参加しましょう。絶対に、参加してよかったと思うこと保障済みです。なぜなら、私はその中の一人だったからです。そして、土井先生の海外研修は、リピーターがとても多いのです。

最後になりますが、土井先生、岡先生、田辺先生、WOO さん、EMIKO さん、研修に参加されたみなさん、ありがとうございました。そして、途中体調不良もあり、みなさんにはご心配おかけして申し訳ありませんでした。みなさんのあたたかい心使いが、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。